

平成17年6月吉日

報道関係各位

富士急行株式会社
営業部宣伝担当

エコツーリズムモデル地域に指定された
富士山北麓地域で多彩なプログラムを展開！

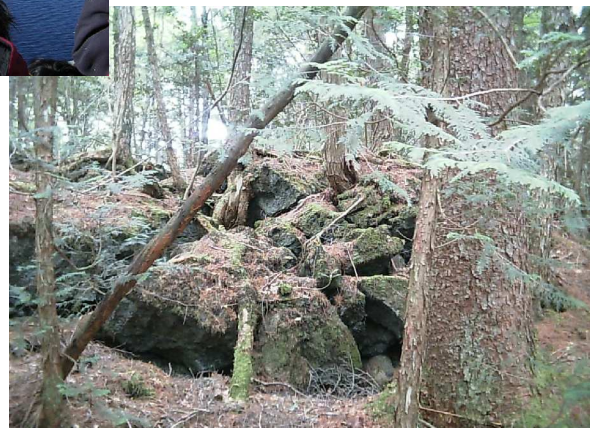
富士急グループが本格的にエコツアー開始！

「☆「富士急のエコツアー・サマースペシャル」を7月に実施☆

□ ホテルマウント富士をエコツアーの拠点として施設整備☆



山中湖 湖上からの自然観察



青木ヶ原樹海

昨年6月、環境省エコツーリズム推進会議が選定する国立公園等エコツーリズムモデル事業のモデル地区に富士北麓地域が選定され、富士山麓各所ではさまざまな形でエコツアーへの取り組みが進みつつあります。

富士急行株式会社（本社：山梨県富士吉田市／取締役社長：堀内光一郎）では、富士山麓一円に展開するグループ各社の施設を活用し、地域への理解を深めながら豊かな富士の自然を楽しんでいただけるエコツアーへの取り組みを開始しました。

「富士急のエコツアー・サマースペシャル」を実施(7/1～7/31)

富士急グループでは昨年来、いろいろな形でエコツアーを実施してきましたが、この夏、ホテル、キャンプ場、遊覧船、ロープウェイなど様々な事業所が参加して「富士急のエコツアー・サマースペシャル」を実施いたします。

各ツアーはいずれも専門のガイド（インタープリター）が案内して、多彩な富士山麓の自然をやさしく、そして楽しく解説するもので、フィールドも青木ヶ原樹海、西湖、河口湖、山中湖、そして表富士二合目と広範囲にわたっています。

(1) マウント富士ネイチャートリップ（ホテルマウント富士）

- ・ 内 容＝湖畔のホテルマウント富士をベースにした宿泊プランで、籠坂峠～あざみ平～三国峠、あるいは三国峠～明神山～山伏峠のコースで豊かな自然を満喫しながらエコハイキングを楽しめるプラン。
- ・ 実施日＝7月6日（水）、7月20日（水）
- ・ 料 金＝一人1,500円（宿泊費は別途）

(2) ファミリー自然体験プログラム（ホテルマウント富士）

- ・ 内 容＝同じくホテルマウント富士宿泊プラン。クラフト教室、ナイトハイク、バードコール、生き物ウォッチングなど多彩なメニューの中から好きなプランをチョイスして楽しんでいただけます。
- ・ 実施日＝7月23日（土）～7月31日（日）の間、毎日実施
- ・ 料 金＝一人500円～1,200円（宿泊費は別途）

(3) ネイチャーアトラクション・ガイドツアー（PICA富士西湖）

- ・ 内 容＝西湖南岸にあるキャンプ場・PICA富士西湖をベースにした宿泊プラン。樹海探検、水辺の生き物、洞穴探検など3つのプログラムからのチョイスで参加できます。
- ・ 実施日＝7月2日（土）～3日（日）、7月9日（土）～10日（日）
7月16日（土）～17日（日）、7月17日（土）～18日（祝）、
- ・ 料 金＝一人1,200円～1,500円（宿泊費は別途）

(4) 森の案内ガイド（富岳風穴）

- ・ 内 容＝広大な青木ヶ原樹海でガイドオウクを楽しんだ後、神秘の溶岩洞穴・富岳風穴を探勝する日帰りプラン。
- ・ 実施日＝7月16日（土）、17日（日）、18日（祝）、23日（土）、24日（日）
30日（土）、31日（日）
- ・ 料 金＝一人730円（こども600円）

(5) ネイチャーガイドがご案内する自然観察と眺望クルージング

（かちかち山ロープウェイ、河口湖遊覧船）

- ・ 内 容＝河口湖畔の天上山からの雄大な展望とガイドオウクのあと、河口湖遊覧船からの湖上遊覧と自然観察。

- ・ 実施日＝7月24日（土）
- ・ 料 金＝一人1,300円（こども650円）

(6) 湖上からの自然観察プログラム（山中湖観光船）

- ・ 内 容＝山中湖観光船から山中湖の多様な自然を観察した後、湖畔の東京大学演習林で森の散策を満喫。
- ・ 実施日＝7月17日（日）、31日（日）
- ・ 料 金＝一人1,000円（こども500円）

(7) 自然ふれあいプログラム（表富士グリーンキャンプ場）

- ・ 内 容＝表富士2合目に広がる富士山自然休養林をベースに森や野鳥を楽しんだ後は、大鍋でつくった名産のほうとう昼食を楽しむ日帰りぷらん。
- ・ 実施日＝7月10日（日）、27日（水）
- ・ 料 金＝一人1,800円（宿泊料は別途、宿泊がなくても参加可能）

山中湖ホテルマウント富士をエコツアー拠点として整備

山中湖畔大出山（1100m）の山頂に立つリゾートホテル「ホテルマウント富士」では、自然に囲まれた立地を生かし、ホテル敷地内遊歩道及びホテル建物内に自然を楽しめる仕組みを導入しお客様からご好評をいただいております。

(1) ホテル敷地内遊歩道に自然観察用設備を設置

もともと野鳥や小動物の多く出現するホテル内の遊歩道ですが、お客様に自然とのふれあいを楽しんでいただけるよう、新たに以下の設備を整えてご利用頂いております。

①野鳥観察用のブラインドウォール及び水場、給餌台

ホテルマウント富士庭園にある遊歩道には、四季折々の野鳥が見ることができますが、そのサンクチュアリとなる水場と給餌台を設置しました。観察の際に鳥たちを驚かさないう、目隠しとなるブラインドウォールを水場と遊歩道の間に設置しました。

②各種巣箱

野鳥だけでなく、ムササビやコウモリ、フクロウにも住みやすい森を目指して、種類ごとに形状の異なる巣箱を設置しました。一番大きなフクロウ用の巣箱には、ちゃっかりもののムササビが時折り間借りをしている様子が眺められます。

③セルフガイド用の自然解説板とガイドマップ

ちょっとした時間を使って気軽に自然観察を楽しんでいただけるよう、遊歩道には解説板を設置しました。特徴のある樹木には名前ではなく、番号札を設置して、セルフガイドマップの利用により、自然のちょっとした面白さに気付いてもらうための工夫をしてあります。

(2) ホテル館内には「ネイチャーブース」を設置

ホテル1階のレストラン近くには、各種図鑑や自然観察の手引きなど各種書籍や、エコツアー実施情報等、自然観察のための情報が気軽に入手できるよう、カウンターを設けました。遊歩道内に設置されたCCDカメラの映像を楽しむためのモニターもあり、館内から遊歩道の水場で遊ぶ小鳥たちの姿を眺めることも出来ます。

(3) ホテルスタッフの教育

ホテルでは毎週月曜日の朝、遊歩道を使った「朝の自然散策」を実施していますが、このご案内を社員スタッフが担当するため、ホテルではエコスタッフ制度を設けて地元NPOの協力のもと「富士山麓の自然体験コンシェルジュ」となるべく猛特訓中です。現在7名のエコスタッフが活躍中です。

富士急グループの環境への取り組み

「自然環境保全のために積極的に行動する富士急行」をスローガンに、当社ではこれまで下記のようないろいろな形で環境保全への取り組みを進めてきました。エコツアーリズムへの対応もそうした一環として積極的に進めて参ります。

<ISO14001の取得>

富士急行株式会社の本社及び東京本社における鉄道、自動車運送、不動産、各種サービス事業（ホテル、遊園地など）の管理業務において、環境マネジメントの国際規格である「ISO14001」の要求事項を満たし、平成11年に私鉄で初めて認証を取得しました。

<低公害バスの導入>

より積極的に自然への付加を軽減する為、平成7年夏、全国の国立公園内では初めての黒鉛を全く出さない低公害CNG（圧縮天然ガス）バスを富士スバルラインを富士スバルライン、富士スカイラインにそれぞれ導入しました。

<富士山清掃登山の実施>

富士山の自然保護活動の一環として、毎年、若手社員を中心とした富士山清掃登山を行い、環境保全に対する企業の理念や自然を守り育てることの大切さを学んでいます。

<南富士エバーグリーンラインの低公害車割引>

静岡県裾野市で経営する有料道路「南富士エバーグリーンライン」では、電気自動車、天然ガス自動車、ハイブリッド車、メタノール自動車などの低公害車を対象に通行料金の割引制度を導入しています。

<マウント富士ネイチャートリップ>

富士山の雄大な自然とふれあい、自然の大切さを体感して頂くことをコンセプトに開催するエコツアーを実施しています。今回のサマースペシャルでも、ホテルマウント富士をベースとしたプランを実施いたします。

本件についての報道関係の皆様からのお問い合わせは
富士急行株式会社 営業部宣伝担当 03-3376-1115 までお願いいたします。